チケット高額転売に関する大学生の道徳的判断

高橋 彩 (三重短期大学)

キーワード: 大学生, 道徳, 社会的領域理論

問題と目的

音楽チケットの高額転売は社会問題化しているが、その是非をめくり、様々な正当化がなされている。本調査は、大学生を対象に、チケット高額転売に関する道徳的判断や正当化をとらえるための、社会的領域理論(首藤, 1992; Turiel, 2006)に基づいた尺度を作成し、以下の仮説を検討した。
仮説 1 チケット転売問題を他者の権利や公平性という道徳領域から判断すれば、法律がなくても許されないと考え、転売されたチケットを購入しようとしないうらう。

仮説 2 「チケットの売買は個人の自由」と個人領域から判断すれば、転売チケットを購入する可能性があるらう。

方法

調査対象者 愛知県内の大学生 287 名。

調査時期 2017 年の授業時間内に質問紙調査。

調査内容 1) チケット転売に対する態度尺度 79 項目。「1. 全くそう思わない」から「6. 非常にそう思う」の 6 件法。2) 定価以上で転売されているチケットの購入可能性の有無 3) チケット転売のサイトやアプリを、「全く知らない」、「知っているが見たことがない」、「チケットが転売されている情報を見たことがある」、「利用したことがある」から複数回答。4) 音楽への熱中度: ライブ参加経験の有無, ファンクラブ入会の有無, CD や音楽 DVD 購入の有無。5) 知識: 「チケット高額転売取引問題の防止」の共同声明について知っていたか否かで回答。

結果と考察

チケット転売に対する態度尺度の因子分析 因子分析(最尤法, promax 回転)を行い、5 因子 49 項目からなるチケット転売に対する態度尺度を構成した。第 I 因子は、チケットを買った人は転売する権利があるという内容で「転売する自由」と命名した(20 項目 $\alpha = .94$)。第 II 因子は、用事で行けなくなった場合のチケット転売はよいこと、組織的買い占めや営利目的でないなら許されるという内容で「高額転売目的以外は容認」と命名した(9 項目 $\alpha = .88$)。第 III 因子は、アーティストの権利を守るため、チケット売買の規則を作る権利はアーティスト側にあるという内容で「アーティストの権利の保護」と命名した(8 項目 $\alpha = .84$)。第 IV 因子は、他の人も売買しているから

自分もしたいという内容で「チケット売買の個人的願望」と命名した(8 項目 $\alpha = .86$)。第 V 因子は、チケットを売らないアーティストが悪いという内容で「アーティストの売り方の問題」と命名した(4 項目 $\alpha = .80$)。チケット転売に対する態度尺度の 5 つの因子の得点が、転売チケットの購入可能性の有無によって異なるかどうか検討した(Table 1)。転売チケットを購入する可能性があるとした群は、「I. 転売する自由」($t(276) = 3.74, p < .01$)と「II. 高額転売目的以外は容認」($t(281) = 5.53, p < .01$)と「IV. チケット売買の個人的願望」($t(284) = 11.27, p < .01$)の得点が、購入可能性のない群よりも高かった。逆に、「III. アーティストの権利の保護」($t(283) = 2.11, p < .05$)は、購入可能性のない群の方が群よりも高い得点であった。

Table 1

	転売チケット購入可能性による各変数の得点差		
	転売チケット購入可能性		t
	なし	あり	
I. 転売する自由	3.03 (.94)	3.44 (.87)	-3.735**
II. 高額転売目的以外は容認	3.79 (1.00)	4.39 (.80)	-5.532**
III. アーティストの権利の保護	4.74 (.80)	4.54 (.81)	2.11*
IV. チケット売買の個人的願望	2.51 (.91)	3.69 (.84)	-11.268**
V. アーティストの売り方の問題	2.96 (1.10)	3.08 (1.12)	-.885 n. s.

** $p < .01$, * $p < .05$

サイトを利用したことがある群において、購入可能性があるとした人数が多かった($\chi^2(3) = 12.22, p > .01$)。音楽への熱中度は転売チケットの購入可能性とは関連がなかったが、CD や DVD 購入群は、「III. アーティストの権利の保護」得点が高く、購入がない群は「I. 転売する自由」が高かった。また、共同声明の知識なし群は、あり群よりも「I. 転売する自由」と「IV. チケット売買の個人的願望」の得点が高かった。

個人領域から判断することは、転売チケットの購入可能性につながり、道徳領域から判断することは転売チケットを購入しないことにつながることを示唆された。

引用文献

首藤敏元(1992). チュリエル領域特殊理論 日本道徳性心理学研究会編 道徳性心理学—道徳教育のための心理学 北大路書房 pp.133-144.